

第2回 自然と共生を考える笠松のつどい開催要項（案）

1. 趣旨

笠松町で令和4年3月に発足した民間団体である「笠松の自然と共生を考える会」が主催する「自然と共生を考える笠松のつどい」を開催します。当会は、笠松町民が主体となり笠松町の良好な自然環境と生物多様性の保全につながる活動を実施することにより、持続可能な社会を実現することを目的に設立しました。2回目となる本つどいでは、環境が悪化している県内屈指のビオトープである「笠松トンボ天国」の外来種問題に焦点をあて、生物多様性保全の重要性、緊急性を広く周知することを目的に開催します。また、お子様（年長～）連れでも参加いただけるよう、子どもワークショップも同時開催します。

2. 日時：令和5年12月16日（土） 14時00分（開場13時00分）

3. 場所：笠松中央交流センター（旧笠松中央公民館）3階 大ホール

（子どもワークショップは3階音楽室）

岐阜県羽島郡笠松町常盤町6番地

4. プログラム

14:00 開会

開会あいさつ 笠松の自然と共生を考える会 会長 箕浦秀樹

【第1部】特別講演

14:05 「ニホンイシガメが消える！？—岐阜のカメの危機と保全」

岐阜大学応用生物科学部 楠田哲士 教授

14:55 休憩

【第2部】パネルディスカッション

15:00 「外来生物は侵略者？」

コーディネーター 岐阜大学地域科学部 向井貴彦 教授

パネリスト 岐阜大学応用生物科学部 楠田哲士 教授

笠松の自然と共生を考える会 箕浦秀樹 会長

16:00 閉会

5. 主催 笠松の自然と共生を考える会

共催 笠松町

6. 問い合わせ 笠松中央交流センター内「笠松の自然と共生を考える会」事務局 田上

TEL 058-388-3231 e-mail : kyouikubunka@town.kasamatsu.lg.jp